

2020年7月13日

【2020年7月11日理事会承認】

選手強化委員会

東京2020オリンピック競技大会選手選考の基本方針について

東京2020オリンピック競技大会については、約一年の開催延期が決定されました。

現在、日本代表選手選考の途中段階であり、選考方法としては出来る限り直近でのメダルを獲得できる選手を選ぶことを目標としていましたが、開催が一年延期になったことから前提条件が大きく変わりました。

選手強化事業には、多額の公金が投入されており、国民の期待に応えるためには「メダルを獲得できる選手を出場させる。」ことがNFの使命であります。一方、アスリート・ファーストの観点からは、現在の代表内定選手及び最終選考会出場予定選手の権利を守ることが重要であります。しかしながら、一年以上前に選出した選手の実力を確認もしないまま出場させることは、選手選考及び強化事業を公正に実施しているNFとして適切ではないと思っております。

上記の状況を踏まえ、来年7月開催の東京2020に向けての選手選考を行うにあたり、下記の基本方針に基づき実施したく、ご承認をお願いいたします。

記

1. 東京2020オリンピック競技大会選手選考基本方針

<方針①>

開催が延期された東京2020オリンピック競技大会の日本代表選手については、メダルを獲得できる最も強い選手を選考する。

<方針②>

東京2020オリンピック日本代表として既に内定されている50m種目の選手については、代表内定の決定を継続する。

ただし、日本代表選手として相応しい競技力を維持していなければならない。競技力維持の確認方法については、別途定める。

<方針③>

東京2020オリンピック最終選考会に出場予定であった10m及び25m種目の選手については、今後実施する最終選考会への出場権を与える。

ただし、競技力維持の確認を行うものとする。確認方法については別途定める。

2. 東京2020オリンピック競技大会選手選考新要綱

東京2020選手選考方法については、選手選考基本方針に基づき作成する東京2020オリンピック競技大会選手選考新要綱により実施する。

選考会の開催については、競技会等の開催が可能となり、かつISSFの東京2020へのQP等の取り扱いが明確になった段階において実施する。